



「平成」から『令和』へ はばたけ五城目小学校

校長 松野 紳一

4月5日。45名のかわいい1年生が入学し、3年生と6年生にそれぞれ1名ずつの転入生を加え、全校児童276人、職員スタッフ44人で平成31年度がスタートしました。4月も月末となり、あさひ台の桜もようやく満開の季節を迎えています。

さて、「平成31年度」としてスタートした今年度ですが、その呼び方ができるのは、残すところあと4日間。来週の水曜日5月1日からはいよいよ新元号を冠した『令和元年』がスタートします。五城目小学校の子どもたち、そして保護者のみなさんはどのような思いでこの新元号の始まりを迎えようとしているのでしょうか。



4 / 4 新任式での児童代表歓迎の言葉

私事で恐縮ですが、30年間慣れ親しんだ「平成」の始まりを、私は東京ディズニーランドで迎えました。関東地方より長い冬休みを利用して当時1歳半になる息子をTDRデビューさせようとして計画していたのでした。天皇崩御のため、華やかなパレードやイベントは自粛され、園内には厳かなBGMが流れるといった普段とは全く違った雰囲気でのTDRでしたが、おかげで通常は何時間も並ばなければ乗れないアトラクションが乗り放題だったという記憶が残っています。

さて1年生から6年生までそれぞれ平成の時代を過ごした年数は異なりますが、新元号『令和』の始まりを五城目小学校の子どもとして一斉に迎える276人の子どもたちにとって、この年のこの瞬間のことは一生心の中に残ることだと思います。子どもたちが成長し、やがて子

どもたちの子どもが小学生になったときに、「お父（母）さんが小学校〇年生の時に「令和」がスタートしたんだよ。そのときの五城目小学校は森山や五城城のふもとのあさひ台という場所にあってね…」といった話を大人になった子どもたちが語っている様子が目に浮かびます。

話は変わって、明日からゴールデンウィークが始まります。今年のGWはご周知のとおり、今上天皇退位と新天皇即位に関わる国民の休日を含めて10連休。それに加えて、五城目小学校は学校創立145年目の開校記念日が絶妙に重なり、子どもたちにとってはなんと11連休という、夏休みや冬休み以外ではめったに経験することのできない長期の休業となります。お家の方のお仕事の都合などで、必ずしも11日間フルにご家族と一緒に過ごすというわけにはいかないご家庭もあろうかとは思いますが、このビックな連休を、事故・事件などに遭わず、安全で有意義なそして楽しい期間にしてほしいと願わずにはられません。



4 / 24 PTA授業参観日（1年生）

5月の行事予定



- 7日(火) 開校記念日(145周年)
- 8日(水) 児童委員会
色覚検査～20日
- 9日(木) 全校5校時限 心電図検査(1・4年)
PTA役員会
- 13日(月) 五P連総会・表彰式
- 14日(火) 歯科検診(2・5・6年)
- 15日(水) あいさつ運動 お話ポシェット①
クラブ① 顔合わせの会
- 16日(木) 全校5校時限
- 18日(土) 五城目町本町祭典宵宮
- 19日(日) 五城目町本町祭典
- 22日(水) 運動会予行 職員会議
- 24日(金) 1～5年5校時限 会場準備6年(6校時)
- 25日(土) 運動会
- 26日(日) 運動会予備日
- 27日(月) 振替休業日
- 29日(水) チャレンジデー クラブ②
- 30日(木) 避難訓練①
- 31日(金) 眼科検診(全校)